



小さなお子さんの誤飲・窒息に注意

子どもは、好奇心旺盛で、いろいろなものを口に入れたがります。異物の誤飲事故は、生後6ヶ月～2才に多いと言われています。

注意をしても子どもから目を離した際に何かを口にしている可能性があります。誤飲したものによっては、命の危険にさらされてしまいます。

飲み込んでしまった時の対処法

医療機関を受診したほうが良い時

- ・ 飲み込んだ途端に咳が始まった
- ・ 呼吸の状態がおかしい
- ・ 顔色が悪い

実際にはどんなものを誤飲した時に危険か？

- ・ 濡れたタバコやタバコが浸っていた水（ニコチン中毒になる恐れがある）
- ・ 電池類（胃が侵食される、電流が流れる恐れがある）
- ・ 石油やガソリン、除光液
- ・ 漂白剤やカビ取り剤、トイレ洗浄剤
- ・ ガラスやホチキスの針などの鋭利なもの



上記のものは、窒息や誤嚥性肺炎の誘発、食道を傷つけてしまう恐れがあるため、誤飲に気づいても絶対に吐かせたりしないで、医療機関を受診してください！！

受診する際には下記の点を把握しておくことが大切です

- ・ 何を飲み込んだのか（それと同じものがあれば持参する）
- ・ 大きさはどれくらいか
- ・ 飲み込んでからどれくらいの時間が経っているか
- ・ 現在の状態



お知らせ

4月より さいたま市民医療センターの先生の診療は、

第2木曜日 高見澤先生

第4木曜日 豊福先生 となります。

* 上記以外の木曜日は、院長の診察となります。

【 ジャイアント・ジャム・サンド 】



イギリスのパン屋の息子である絵本作家の作品です。
ハチ退治の為に、村人が知恵をしぼるお話ですが、
本当にこの方法でおいしいパンができちゃうかも！
と思わせる部分も・・・。
お腹が空いている時に読むと、パンがどうしても
食べたくなります。

著・イラスト ジョン・ヴァーノン・ロード

保育士 上田 洋子

今号のスタッフ一言日記

うちでは、夜寝る前に必ず絵本を読んでいます。毎日子ども達に「～したの？」「早く～しなさい！」など、怒鳴りながらバタバタと忙しい時間を過ごしていますが、寝る前のほんの数分は絵本を見ながらのんびり、ゆったり出来るよう心がけています。私は、子ども達と布団に入り忙しい時間を忘れ、絵本を読んでいるその時間が大好きです。小学生の子ども達ですが、毎晩「今日は何の本かな～？」と楽しみにしています。これからも沢山の本を読んであげたいと思っているので、出来る限り続けていきたいです。

保育士 鈴木 美穂